



# 自ら求めて 一步でも前進

第13号 2026.8.25

文責：校長 目野登美恵

## 学校教育目標

夢と誇りをもち  
仲間と共に高め合い  
未来を拓く生徒の育成

## 目指す生徒像

心豊かで、社会性のある生徒  
自ら学び、共に高め合う生徒  
心身ともに明るく健康な生徒

## 校訓

やさしく(徳)  
かしこく(知)  
たくましく(体)

## 生徒信条

やればできる  
自ら求めて  
一步でも前進



## ❖ 昨日の自分に、ほんの少し何かをプラス！ ❖

長い夏休みを終え、学校に生徒たちの元気な声が戻ってきました。大きな事故などもなく、今日を迎えられたことを嬉しく思います。

始業式では、夏休み前に話した「1.01の法則」を振り返りながら、これからの学校生活について話しました。

「1.01」は、1よりほんの少しだけ大きな数字です。毎日、昨日の自分より1%だけ成長する。その積み重ねが、やがて大きな差につながります。逆に、ほんの少しの努力を怠ることも、積み重なれば大きな差になります。そこで、夏休み前には、生徒たちに「1.01の夏にしてください」と伝えました。

夏休みを振り返れば、部活動、勉強、家の手伝い、新しいことへの挑戦など、それぞれの「1.01」があったことと思います。一方で、「思うようにできなかった」と感じる人もいるでしょう。しかし、大切なのは、これまでの振り返りだけではなく、「今日からどう生活するか」です。

これから、合唱コンクールや体育大会など、仲間と力を合わせる活動が待っています。また、三年生は進路に向き合い、二年生は学校の中心となり、一年生は先輩としての準備を始める時期です。思い通りにならないことや、失敗することもあるでしょう。そんなときこそ、昨日より少し大きな声で挨拶する、もう一度挑戦する、分からないことを一つ質問するなど、小さな一歩を大切にしてほしいと伝えました。

そして、「一人の1.01は小さくても、みんなの1.01が集まれば、学校は大きく変わる」とも話しました。

「今日の自分に、0.01を足すとしたら何ができるだろう。」

そんな問いを一人一人が持ち、昨日の自分にほんの少し何かを足す毎日を積み重ねてほしいと思います。数か月後、「少し変わったな」「できることが増えたな」と、自分自身の成長を実感できる一学期後半になることを願っています。

## ❖ 除草作業：ご協力、ありがとうございました ❖

8月23日(日)、午前6時30分から、2回目の除草作業を実施しました。暑さの残る中での作業となりましたが、参加者の皆様が協力しながら手際よく作業を進めてくださったおかげで、校内の環境をきれいに整えることができました。生徒たちも、保護者の皆様と一緒に汗を流しながら、一生懸命に作業に取り組んでいました。

学校の環境が整うだけでなく、保護者の皆様と生徒、そして学校が一緒になって活動することの心強さを改めて感じる機会となりました。

これから、合唱コンクールや体育大会など、学校の大きな行事が続きます。子どもたちの充実した学校生活のために、今後とも保護者の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

御参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

